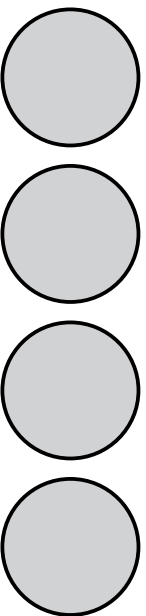
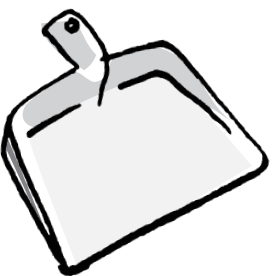
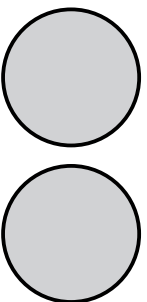
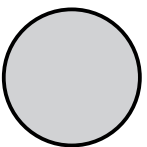
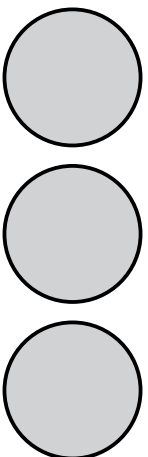
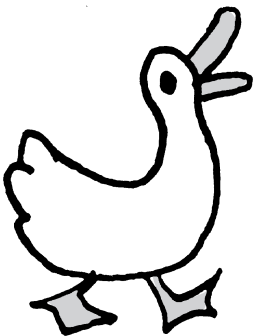
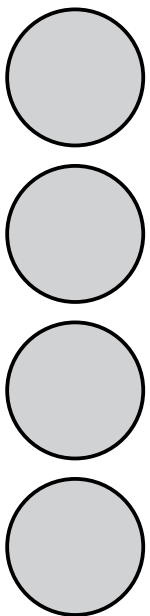




てんをゆびで おさえながら いてみよう。



1) 絵の単語をいったん復唱で確かめ、声に出して言いながら一音節に丸点1つを押さえていく練習。  
2) 全問をやってみせ、趣意を理解させる。  
3) 清音の4音節までは音節以上よりもやさしい。△1) がなければ出来るまで試行。

a) ひらがな習得を支える下位能力は、語彙、図形弁別  
の視知覚、発音と、この音韻操作に関わる能力である。  
b) 音韻操作は原初的な記号体験としても有意。  
c) 音と点押さえの1対1対応は、文字だけでなく数の  
準備としても重要。

Date  
Note

評

